

経営安定へ取り組み着実に

市内の第3セクター3社がこのほど、定時株主総会を開催。昨期の事業・決算を報告し、今期の事業計画などを決定しました。今期も、3社それぞれ経営安定に向けた取り組みを着実に進めます。

緑土―あやべ温泉

地道な改善重ね黒字化目指す

睦寄町のあやべ温泉などを運営する緑土（仲久保政司社長）は5月28日、定時株主総会を開催。純損失1571万円を報告しました。同社は、昨年5月に経営陣を刷新し、常勤取締役を4人から1人



展示イベントには、地域住民や上林にゆかりのある人などから寄せられた品々が並びます

に削減。人件費を中心に経費抑制を図るとともに、業務の効率化を進めました。一方で▽レストランメニューの見直し▽SNSでの情報発信▽季節ごとのイベント開催―に取り組みなど、集客に注力。こうした収益改善の結果、昨年10月から本年3月までの下期では73万円の黒字を確保しました。

今期は、経営基盤を強化するため、4月に温泉入浴料と二王公園キャンプ場の使用料を改定。車が乗り入れられるようリニューアルしたキャンプ場には今後、水場を増設する計画です。利便性をさらに高め、施設の利用促進につなげます。引き続き経営改善に努め、市の観光拠点の一つとして持続可能な運営を目指します。

エフエムあやべ―76・3FM

外部人材を積極活用

コミュニティラジオ局「FMいかる」を運営するエフエムあやべ（井関悟社長）は6月11日、定時株主総会を開催。経常利益は491万円、純利益は過去最高額となる410万円で、15期連続の黒字を報告しました。



黒谷和紙の製造工程を順に紹介する約20分の動画（英語版）。大阪・関西万博で上映し、和紙の魅力をPRしました＝本紙裏面に関連記事

昨期は、社員がディレクター業務に専念できるよう、外部のパーソナリティやコメンテーターを積極的に活用した番組編成を実施しました。また、経験豊富な元民放地方局のアナウンサーをパーソナリティに採用。リスナーからのリクエストやメッセージが増加するなどの反響があり、社員の放送スキル向上にも手応えを感じてい

ます。

今期はさらに、外部人材の多様な視点を取り入れた番組作りに取り組み、新規リスナーの獲得を目指します。今後も、災害放送や地域密着型の放送に加え、映像制作やイベントでの司会なども精力的に行います。



フロント責任者
伴 明博さん
(八津合町)

笑顔で帰ってもらえる おもてなしを

フロントと温泉の管理を担当しています。一押しは、露天風呂から望む美しい自然。湯けむりに星空が映える夜の入浴が特にお勧めです。また館内では、子どもからお年寄りまで楽しめる展示イベントを多数企画。皆さんに笑顔で帰ってもらえるような、施設づくり、接客を心掛けています。心身ともにリラックスした時間を過ごしていただくとうれしいです。



市民パーソナリティ
福知山高校3年生
村上 倫さん
(白道路町)

自分にはかできない話を 届けたい

4月から市民パーソナリティを務めています。担当する番組は、毎月第1土曜日の午前11時30分から放送。タイトルは「だべる土曜日」です。部活動や家族と訪れた場所など、自分の日常や好きなことを、自分の言葉で届けています。ラジオは、聴くとリラックスできることが魅力。1人の時間に寄り添ってくれる存在でもあります。まだ至らない点もありますが、今後も私にかできない話を発信していきたいです。

水夢―あやべ健康プラザ



広々としたスタジオでは、ヨガやダンス、エアロピクスなど多彩なプログラムを実施

快適環境で利用を促進

青野町のあやべ健康プラザを運営する水夢（山本雄史社長）は5月27日に定時株主総会を開催し、経常利益659万円、純利益442万円で2期連続の黒字を報告しました。

昨期は、猛暑対策として2階フロアの空調設備を一新したほか、ジムのトレーニング機器を更新。利用者が快適に汗を流せる環境を整えるなど、施設の利用促進を図りました。その結果、期中平均の会員数は前期比37人増の1438



利用者
村上 孝則さん
(栗町)

仲間との交流でやる気が向上

本格的に体を鍛えようと思い、9年前に入会しました。78歳になった今でも、1日2時間、週4～5日ジムで筋力トレーニングに没頭。機器が充実していて、思う存分打ち込めます。ジムでは体を動かしながら、世間話をしたり、情報交換したりするなどして仲間と交流。若い世代から刺激をもらうこともあり、1人よりもやる気が高まります。80歳に向けて、筋肉量の維持・向上が目標です。

人となりました。また、市の委託を受け、あやべテラス（青野町）等を会場に、親子が体を動かせる機会を提供。子育てに優しいまちづくりの推進に貢献しています。今期は、利用特典サービスの実

施やプール底面の張り替えなどを計画。引き続き、会員の確保と快適で安全な施設運営に努めます。さらに、健康長寿のまちを目指し、市や市立病院との連携事業にも取り組みます。



＜問い合わせ＞
市民・国保課
☎(42)4245



おくやみ手続きナビ
はこちらから

市は7月から、死亡の届け出後に必要な手続きをインターネットで確認できる「おくやみ手続きナビ」を導入。表示される質問に答えると、手続きや担当窓口などが確認できます。綾部市地域情報アプリ「ライフビジョン」からもアクセス可能です。

遺族の負担軽減へ 「おくやみ手続きナビ」開始

死亡届は 死後の手続きの第一歩

届出期限…国内で死亡した場合は「死亡を知った日から7日以内」と定められています。期限を過ぎると、過料の制裁や葬儀・埋葬の手続きに支障をきたす場合があります。

届出先…故人の住所地▽届出人の住所地▽故人の死亡地—のいずれかの市区町村
届出人…同居の親族、同居していない親族、同居人、家屋・土地管理人
必要書類…死亡診断書または死体検案書



担当窓口も案内
家族や親族が亡くなった際には、市役所でのさまざまな手続きが必要で、遺族にとって、悲しみの中で、複雑な手続きを一つ一つ確認しながら行うことは、大きな負担になります。「おくやみ手続きナビ」を使うと、死亡の届け出後に、市で行う手続きを抽出できます。
利用方法は、まず市ホームページ内のバナー表示をクリックし、サイトへアクセス。次に「案内をはじめると」のボタンをクリックし、死亡した人に関する質問に答えてください（答えがわからない質問は、「わからない」を選択）。全ての質問に答えると、必要な手続きや担当窓口、提出書類等が表示されます。詳しくは、市ホームページ（記事ID2432）をご覧ください。
ハンドブックでも手続きを支援
市は、死亡の届け出後に必要となる手続きをまとめた冊子「おくやみハンドブック」を作成。8月1日から、希望者に市民・国保課窓口で配布します。

小規模特認校ってどんな学校？ 各校の紹介動画を制作

市教育委員会は令和8年度から、市内5小学校で小規模特認校制度＝本紙5月号6面参照＝を開始します。制度の開始に向けてこのほど、各校を紹介する動画を制作しました。動画では、小規模校ならではのきめ細かな指導や特色ある教育活動の様子を紹介しています。

動画の視聴はこちらから▶



志賀小学校 「山に良材、里に人材」 本物の体験を通して学ぶ

田植えと稲刈り体験。
収穫したコメは給食で味わいます



実際に山に入り、森林の大切さを考える学習

東八田小学校 「言葉の力」を最大限に 伸ばす



伝え合う力を高める表現学習



地域住民に学びの成果を発表する「えがおの集い」

上林小学校 個のペースで学び、 「のびのびと過ごせる」

バリアフリーで
広くて明るい校舎



水源の里の豊かな自然を
生かした体験学習

物部小学校 学びのフィールドは地域



農産物の収穫体験などを通じて、ふるさとへの愛着を深めています



地域に伝わる遊びや文化などを、地域住民から学ぶ「わくわくツアー」

東綾小学校 小中9年間を通して、一人一人に 「きめ細やかな学習指導」

個々の学習ペースに合わせた学びを提供



中学校と合同で体育祭を実施。中学生との交流も盛んです

相談は
随時受付中

気軽に
ご連絡ください

学校見学や通学などに関する相談は、学校教育課☎(42)4323で随時受け付けています。小規模特認校への就学申請の受付期間は9月30日(火)までです。募集要項や申請書は、各学校で入手できるほか、市ホームページ（記事ID5389）で閲覧・ダウンロード可能です。

まちの魅力を、情熱でカタチに。 市職員を募集!



あなたの熱意を綾部市に

市は、令和8年4月採用の職員を募集します。募集期間など詳細は、左募集概要をご覧ください。
少子高齢化や人口減少の進行、デジタル社会の急速な進展など、自治体を取り巻く環境は大きく変化しています。市が求めているのは、困難な時代にあっても、いつも市民の目線に立ち、熱意を持って職務に取り組める人材。あなたにこれまでに培った知識や経験、能力を綾部市民のために生かしてませんか。
詳しくは、職員課 ☎(42) 4228へ。

募集概要

試験区分
一般試験（高校卒業者、大学卒業者など対象）、社会人経験枠

募集職種
事務職員、土木技師、建築技師、消防職員など

採用時期
令和8年4月1日

申し込み
7月下旬、市ホームページに職員採用試験の申し込みフォームを掲載します。

申込期間
7月30日(水)～8月29日(金)

1次試験の内容
一般教養試験かSPI3試験のどちらかを選択（社会人経験枠はSPI3試験）

試験日時
9月21日(日)午前9時30分～

試験会場
綾部市役所

シリーズ 人権を考える

8月は人権強調月間

自分事として行動を

昭和40年8月、部落差別（同和問題）の解決は国の責務であり、国民的な課題であるとする「同和対策審議会答申」が政府に提出されました。府と京都人権啓発推進会議は答申が出された8月を「人権強調月間」と位置付け、毎年府民に対する啓発事業に取り組んでいます。



市は、3月に策定した第4次綾部市人権教育・啓発推進計画「人権がやきプラン」に基づき、人権尊重のまちづくりに向けた取り組みを進めています。計画書は、市ホームページ（記事1 D5416）で閲覧できます。

部落差別をはじめとする人権課題は今もなお数多く存在し、インターネット上の誹謗中傷、職場等でのハラスメント、性的少数者や外国人に対する偏見など、人権を取り巻く状況は複雑化・多様化しています。「自分は差別をしていないし、差別も受けていないから関係ない」と無関心でいるのではなく、人権問題を自分のこととして捉え行動を起こすことが、誰もが安心して暮らせるまちづくりにつながります。

フェスタを開催
市は同月間に合わせ、8月30日にあやテラス・ホール（青野町）をメイン会場に「あやべ人権フェスタ2025」を開催します。講演会のほか、紙芝居や映画など、さまざまな内容で人権について学べる機会とさせていただきます。本紙お知らせ版参照。私たち一人一人にできることは何かを、考えてみてください。



ウィッシュユ・リスト

ウィッシュユ・リスト。文字通り「願い事一覧」で、これからの人生で叶えたい願望や出来事を書き出した項目のこと。誰しも年齢を重ねるにつれ、後悔なき人生をまっとうすべく「あれをしたい、これもしたい」と想いを巡らせるのが自然の理かと。思い出すのは少し前にヒットしたアメリカ映画で、ジャック・ニコルソン主演の『最高の人生の見つけ方』。実直な自動車整備工と豪放な実業家が、たまたま同室となった入院先でも余命6か月を宣告された。その半年でやっておきたいことを書き出した『棺桶リスト』の実現のため、人生最後の旅に出る老人2人の痛快ストーリーだが、人生とは何か、余生を如何に生きるべきか、を考えさせられる。視点は少し異なるが、コロナ禍

で市役所内に閉塞感が漂っていた頃、実現したい政策を夢でも希望でもよいから、「ウィッシュユ・リスト」として庁内の各部署に募ったことがある。職員には多少の戸惑いもあったようだが、個人の趣味的なものから、これは目から鱗!と思わせる案など100以上の事項名が並んだ。玉石混交ではあったが、その中から予算化して実現に至った事業も複数ある。そしてこの試みがその後の若手職員向けの政策形成研修に繋がり、今年で5年目となる。

ところで自分の胸に手を当ててみると、漠然と旅に出たい願望が強い。エジプトのピラミッドを一度は見みたい。北極のオーロラも一見の価値ありという。はたまた、もう一度モンゴルの平原を馬で駆け抜けてみたい。一方で、国内の名所旧跡の多くを未だ訪れていないことにも気付く。奥入瀬溪流や屋久島縄文杉は未体験、佐渡島にも渡ってみたいし、四国八十八か所のお遍路も一度は成就させたい。加えて温泉宿とゴルフ三昧は魅力満載! しかしながら、いずれも健康あつての旅。映画と異なり、元気なうちに「ウィッシュユ」を叶えたいものだ。

山崎善也（綾部市長）



今月の手話

材料



左手拳の甲の上に右手拳を2回乗せる

協力：京都府聴覚障害者協会綾部支部

図書館ほんでほんで通信mini

野菜作りびっくり講座

～目からウロコの裏ワザ! 家庭菜園も楽しくなる～

日時 9月20日(土)午前11時～正午
場所 1階ものづくりコーナー
定員 20人（申し込み多数の場合、市民優先で抽選）
参加費 無料
申し込み 8月23日(土)～9月12日(金)に図書館へ。窓口カウンターで受け付けます。

農山漁村文化協会の講師が、DVDを上映しながら野菜作りのコツや裏技を解説します。家庭菜園を始めた人や野菜作りで困りごとがある人など、ぜひご参加ください!



<問い合わせ> 図書館 ☎(42)6980 ☎(42)4570